

## あとがき

平成15年1月に開始しました滋賀県地域結集型共同研究事業は、数多くの研究成果を挙げ、5年間の事業期間を終えることとなりました。

環境県ともものづくり県を標榜する滋賀県にとって、環境と経済の両立は県民と産業界に共通する最大の関心事でありますので、「環境調和型産業システム構築のための基盤技術の開発」を事業課題として掲げました。この事業から、有機排水の燃料ガス化、排水中の有用物質の再資源化、地域版環境分析用産業連関表など、地域の新しい産業創出につながる成果に加えて、将来の地域産業の姿を構想することができる多くの有益な成果が生まれました。これらの成果は(独)科学技術振興機構をはじめとする関係機関の多大なご支援の賜であり、ここに厚く感謝の意を表します。

本事業の成果については、地域COEと連携してさらなる成果の創出や次世代の滋賀を支える新技術・新産業の創出につながるようにしていく所存でありますので、関係各位におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。